

お詫びと訂正

「検査値ミニノート」1刷～5刷におきまして、下記の箇所に誤りがございました。ここに訂正するとともに、読者の皆様に深くお詫び申し上げます。

(2017年7月5日)

訂正箇所	誤	正
p.138 異常値を示す原因(疾患) 基準値より低値を示す場合 5行目	●甲状腺機能低下症	●甲状腺機能亢進症
p.139 観察・対応のポイント	<ul style="list-style-type: none">●TSHが高値の場合は、微熱や頻脈、発汗、息切れ、手指振戦、下痢、体重減少、眼球突出、頸部腫脹などの甲状腺亢進症状を観察する。●TSHが低値の場合は、低体温、徐脈、浮腫、体重増加、便秘、皮膚乾燥、筋力低下等の甲状腺機能低下症状を観察する。	<ul style="list-style-type: none">●TSHが低値の場合は、微熱や頻脈、発汗、息切れ、手指振戦、下痢、体重減少、眼球突出、頸部腫脹などの甲状腺ホルモン分泌過剰症状を観察する。●TSHが高値の場合は、低体温、徐脈、浮腫、体重増加、便秘、皮膚乾燥、筋力低下等の甲状腺ホルモン分泌低下症状を観察する。